

安城市内景況調査結果 (2021年4月～6月)

<建設業において厳しい業況が続いている>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業
 2. 調査対象時期 2021年4～6月期
 (1)前年同期(2020年4～6月)と比べた今期の状況
 (2)今期と比べた来期(2021年7～9月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	20	22	25	9	100
構成比	24.0%	20.0%	22.0%	25.0%	9.0%	100.0%

安城市内企業全体の今期の業況判断DIを詳しく見ると、△10.0ポイントとなり、業況判断の前回実績(△38.2)と比較すると改善の兆しがみられる。また、製造業においては今期、来期ともに前年に引き続き好転の兆しがみられるも、他の業種、特に建設業においては引き続き厳しい業況が続いている。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△38.2	△10.0	△6.1
売上高	△40.0	△13.4	△6.1
売上単価	△34.0	△28.9	△12.2
資金繰り	△13.1	△14.4	△11.6
借入難度	4.1	3.3	△3.3
収益状況	△44.6	△20.2	△16.2
雇用人員	△5.0	△4.1	△5.1

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△10.0		12.5		△20.0		△18.2		△28.0		22.2	
	売上高	△13.4		17.4		△31.6		△22.7		△25.0		0.0	
	売上単価	△28.9		△37.5		△20.0		△38.1		△21.7		△22.2	
	資金繰り	△14.4		△12.5		△15.8		0.0		△39.1		11.1	
	借入難度	3.3		4.2		0.0		9.1		△5.0		11.1	
	収益状況	△20.2		8.3		△50.0		△27.3		△29.2		11.1	
	雇用人員	△4.1		8.3		0.0		△31.8		12.5		△22.2	
来期の見通し	業況判断	△6.1		17.4		△15.0		△36.4		△4.0		22.2	
	売上高	△6.1		17.4		△10.0		△40.9		0.0		11.1	
	売上単価	△12.2		4.3		△15.0		△36.4		△8.3		0.0	
	資金繰り	△11.6		△13.0		5.6		△28.6		△8.3		△11.1	
	借入難度	△3.3		0.0		6.3		△27.3		5.0		11.1	
	収益状況	△16.2		17.4		△35.0		△45.5		△12.0		0.0	
	雇用人員	△5.1		16.7		△5.6		△40.9		4.0		0.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。